

# 手と手と手と

第107号

令和2年4月27日発行  
大分県立聾学校  
通級指導教室

2020年度が始まりました。今年度、通級指導教室に通う児童生徒は、昨年度から継続している小学生12名、中学生1名の計13名になりました。通級指導担当は3名です。他学部の授業も担当するため、通級指導の時間の変更が難しい場合もありますが、相談しながら行っていきたいと思います。

新型コロナウイルス感染症予防のため、学校の臨時休業が続きました。合同通級連絡会も中止とさせていただきます。新型コロナウイルスの早期終息を願うばかりです。

通級指導の開始は、聾学校と在籍校、両校の授業再開が条件です。どちらかが臨時休業の場合は指導できません。指導の際は、感染対策を行いながら指導を行っていきたいと思います。

また、聾学校には、特に感染予防対策が必要な児童生徒が在籍しているため、当分の間、通級指導を小学部棟1階の児童会室と教材室で行います。出入り口は、ベランダ側からとします。ご理解、ご協力をお願いします。

様々な面で、昨年度とは異なる状況がありますが、昨年と同様、各学校の教職員、保護者、通級担当が、お互いに情報を共有しながら、子どもたちがよりよい方向へ進んでいけるようにしていきたいと思っています。一年間よろしく申し上げます。

【通級指導教室担当：赤尾・白石・房前】

## 【必ず持参するもの】

- ① 健康観察チェック表 (小・中学校で配布されたものでよい)
- ② 通級連絡ノート
- ③ 上靴
- ④ マスク(症状のあるなしに関わらず着用) ・必要な人は、水筒



## お願い：必ずお読みください

- 聾学校へ通級する日の2週間前から、必ず、検温と咳、のどの痛み、倦怠感の有無の確認を行ってください。
- 4日連続で発熱(37.5℃以上)があった場合、解熱後、2週間を経れば通級指導は可能です。通級指導日の1週間前までに1日でも発熱があった場合は、通級はできません。解熱後、1週間経てば通級指導は可能です。

私の場合は、手話よりも口や表情に頼ることが多く、コロナウイルスでほとんどの人がマスクしている今、聞こえる人だけでなく、聞こえない同士の会話でも手話を読み取るのに必死です。  
事務室主任 芦刈  
(地域の学校に通学していました)

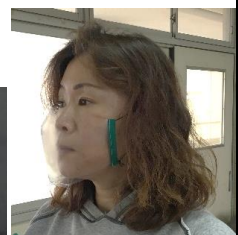


## 《新型コロナウイルスによるマスクの使用について》

新型コロナウイルス感染予防のため、学校でも常時マスクを着用していると思います。しかし、きこえにくさのある子どもたちにとって、マスクで口形が見えないことは、話の内容を正しく読み取ることができず、情報不足になり、授業の内容が分からない状況になってしまいます。

先日、小学校の先生から『口形を見せるように配慮しながら授業を行ってきたけれども、現状の中でどうすればよいですか?』との相談がありました。『透明マスク』を紹介すると、インターネット(価格が一時上昇しましたが、今は、通常価格に落ち着いています)で『早速注文しました』との返信がありました。先生の素早い行動に感謝です。

聾学校でも、高等部家庭科の河津先生ができるだけ安価な材料で『透明マスク』を試作中です。どうしたらズレないか?息で曇らないようにするには?など検討を重ねています。よいものができたら、また、ご紹介します。



河津先生試着中

